

みやき便り

No.4

2016年9月29日発行

9月号

日本生協連
組合員活動部

仮設住宅でのふれあい喫茶開催のつながりから、災害公営住宅での自治会立ち上げ準備会の支援依頼があるなど、新たな支援活動へつながっています。



ふれあい喫茶～災害公営住宅入居者と町内とのコミュニティ作りを支援しています

亘理町の西木倉災害公営住宅周辺は、被災した自宅を直して戻った方も多く住んでいます。8月から、町内会のご協力により、西木倉公営住宅でのふれあい喫茶を回覧板でお知らせしています。町内からの参加が少しずつ増えており、ふれあい喫茶の場が、災害公営住宅入居者と町内の皆さんとの交流の場になっていると喜ばれています。参加者からの要望で、年間の予定表を集会所に掲示しました。これからも参加者の声に寄り添ってコミュニティ作りを支援していきます。



「グリーンタウンやもと」の感謝の会と同窓会を開催！

東松島市「グリーンタウンやもと仮設住宅」のふれあい喫茶は6月20日に終了しましたが、元住民の方々にお声かけをして、これまで支援いただいたコープネット事業連合の皆さんに感謝する会&同窓会を8月22日に開催しました。参加した方からは「当時は仮設住宅での月に2回のお茶会が生活の一部になっていて、生活に張りが出ていました。2ヶ月ぶりに皆に会えて懐かしかった。嬉しかった」「私に言葉や笑顔を取り戻してくれたのは生協さんのお茶会でした」などのほか、「また会いたい!」「会える



場を作って欲しい」と多くの方々から声が出ていました。コープネット事業連合の皆さんへのお礼として参加者で書いたメッセージの色紙をお渡しました。コープネット事業連合の皆さんは「皆さんの元気な姿にお会いできて良かった」「誕生会をした事が一番の思い出です。賞状を読み上げるたびに感情がこみ上げていました」「皆さん、身体に気をつけて元気に過ごして欲しいです」と話していました。



福井県から親子で来訪されました

7月29日に福井県民生協主催「みやぎ親子スタディバスツアー」で、8～13歳までの子どもと親計13人が来訪されました。閑上や南三陸町を視察したほか、名取市箱塚屋敷団地仮設住宅でのふれあい喫茶に参加し、住民の方々と交流しました。

参加されたお子さんは「震災から5年以上経つが、まだ仮設住宅に住んでいる人がいる。そのことを全国に知らせて、募金とか、できることからやっていき、東京オリンピックの頃には、仮設住宅がなくなるといいと思う」などの感想を寄せてくれました。



復興はいま・・・こんな問題も

気仙沼市の仮設商店街「鹿折復幸マート」は、区画整理事業により他の場所から2014年に移転してきましたが、2年間の期限付きだったため8月末で閉鎖となりました。しかし、新たな土地の引き渡しは2018年春と1年半以上先になる店舗があったり、他の仮設商店街やテナントは賃料や利便性の問題があるなど、退去後の移転先が決まらず、休業や廃業を余儀なくされるお店も出ています。暮らしに寄り添う「店」が再建できないことは、住民の減少にもつながり、地域づくりにも影響が出ます。気仙沼市では、2017年3月には別の2ヶ所の仮設商店街も退去期限を迎えます。暮らし全体を見通しての復興事業が求められています。



復興しています！

【仙南地区】

○待ちに待った新校舎が完成しました！

沿岸部で被災した山元町立山下第二小学校の新校舎が、新市街地「つばめの杜地区」に完成しました。震災から5年5ヶ月の間、間借り先の小学校に通っていた子どもたちは、2学期から新しい校舎に通えることをとても喜んでいました。校長先生は、「震災時、1年生だった6年生が新しい校舎で卒業式ができることに感謝をしたい」と話されていたそうです。



○JR 浜吉田駅～相馬駅間がもうすぐ再開

震災後、運休しているJR常磐線浜吉田駅～相馬駅間の再開が12月10日に決まりました。津波被害による線路の流失のため、内陸側に新ルートを移行しての再開です。間にある新山下駅や新坂元駅の周辺整備も進み、再開に向けて地元の皆さんの期待も少しずつ高まってきています。

発行

日本生協連 組織推進本部 組合員活動部
電話 03-5778-8124 Fax 03-5778-8125

担当

小池、住吉